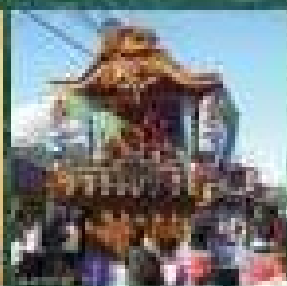


那珂市史

地誌編



目 次

発刊にあたって	1
凡例	3

I 通史概説

1 原始・古代	15
<旧石器時代>/<縄文時代>/<弥生時代>/<古墳時代>/<奈良～平安時代>	
2 中世	19
<院政期>/<鎌倉時代>/<南北朝期>/<室町時代>/<戦国期>/<織豊政権期>	
3 近世	21
<幕藩体制の形成>/<水戸藩の成立>/<農村荒廃と殖産興業>/<対外関係の緊張>/<幕末水戸改革>/<尊攘運動の激化>/<一会桑政権と政治情勢の激化>/<徳川慶喜政権と薩長勢力の抗争>	
4 近代	24
<明治期>/<大区小区制と壬申戸籍>/<大区小区制/郡区町村編制法/壬申戸籍/地租改正/那珂郡役所新設をめぐる紛争/戦争と那珂地方>/<大正期>/<県是・郡是・町村是の作成/米騒動と那珂地方/郡役所、郡長の廃止/普通選挙法の成立/交通関係/神崎村報の創刊/日中戦争と太平洋戦争>	
5 現代	27

II 神崎地区

概観	31
<役場>/<教育施設>/<本米崎小学校/横堀小学校/青年学校/中学校>/<産業と人口>/<人口及び戸数>/<久慈川の治水と神崎村>/<遺跡>/<杉遺跡/海後	

遺跡

1 本米崎地区	39
<概観>/<小字名>/<石仏石塔>/<社寺祠堂>/<三嶋神社/上宮寺/上宮寺と学童疎開/稲荷神社/八坂神社>/<城館跡>/<水車場>/<久慈川の鮭漁>/<久慈川の洪水>/<本米崎八景>/<ゆかりの人物>/<福地理右衛門/佐川華谷/武藤光蓬>/<本米崎地区小字図>	
2 向山地区	47
<概観>/<小字名>/<石仏石塔>/<社寺祠堂>/<吉田神社/三社稲荷>/<城跡>/<（コラム）笠松運動公園>/<向山地区小字図>	
3 横堀地区	50
<概観>/<小字名>/<石仏石塔>/<社寺祠堂>/<吉田神社/八坂神社/愛宕神社/発汗地藏尊/薬師堂>/<茨城変電所>/<横堀地区小字図>	
4 堤地区	54
<概観>/<小字名>/<地形>/<検地と打出>/<農業景況>/<石仏石塔>/<社寺祠堂>/<静神社/聖徳太子堂>/<堤地区小字図>	
5 杉地区	59
<概観>/<小字名>/<物産>/<石仏石塔>/<社寺祠堂>/<鹿島神社>/<杉地区小字図>	

III 額田地区

1 額田東郷地区・額田南郷地区・額田北郷地区	65
環境	65
<鯨の化石の発見>/<久慈川の大蛇	

行>/<有ヶ池>	
歴史	66
古代	66
<先土器時代>/遺跡/<縄文時代>/	
遺跡/<弥生時代>/遺跡/<古墳時	
代>/古墳群/遺跡/<古代官道副道>	
中世	67
<中世開発私領額田郷>/<中世「塩の	
道」>/<佐竹の乱と額田小野崎氏>/	
<明応年間の額田小野崎氏の家中>/	
<石神・額田小野崎氏の合戦>/<額田	
小野崎昭通と佐竹・江戸氏との戦い>/	
<額田小野崎昭通、伊達政宗と結ぶ>/	
<天下統一と佐竹氏の常陸領国化>/	
<額田小野崎昭通の没落>/<額田城	
跡>/本郭/惣構え/外郭/<社寺祠	
堂>/鹿島八幡神社/光圀の八幡潰し/	
毘盧遮那寺/文覚伝説/大般若経/阿	
弥陀寺/小壺出現の奇端/鱗勝院/引接	
寺/光照寺/<豊臣期額田宿の景況>	
近世	76
<額田藩の設置>/<近世額田村の概	
要>/<額田茶の沿革>/<鈴木市十郎	
家に嫁いだ万妃は実は光圀の娘だった>/	
<享保期額田村商業の形成>/<明和	
元年額田宿の役割>/<享和3年の額	
田村階層区分>/<寛政4年額田村繰	
綿営業>/<文化4年の額田での生魚問	
屋成立>/<文化6年の額田村両庄屋	
の役割>/<文化期の村方騒動と村方	
改革>/<天保期の村方騒動と村方改	
革>/<天保期の額田村分村>/<元治	
元年天狗諸生の乱と寺門登一郎>/反撃	
派の打ち毀しを指揮する/助川城の田中	
愿蔵を破る/登一郎捕らえられ処刑され	
る/<教育者の碑文>/原好誼軒の碑	
近代	83
<沿革>/<水戸鉄道の開通と木材加工	
業の発展>/<明治43年「額田村是」に	

よる景況>/<明治期製茶の改良>/<額	
田祭り>/<昭和18年、有ヶ池の干拓>	
現代	84
<額田バイパスの建設>/<小字名>/	
<地名の由来>/<額田東郷地区小字	
図>/<額田南郷地区小字図>/<額田	
北郷地区小字図>	

Ⅳ 菅谷地区

1 菅谷地区	91
環境	91
歴史	91
古代	91
<先土器時代>/<縄文時代>/<弥生時	
代>/<古墳時代>/<古代官道東海道>	
中世	92
<城郭>/堀の内館/延命院との関係/	
発掘調査の結果/平野館跡/江戸氏から	
の書状/軍司筑後守館/仲の房館/一向	
宗門徒、江戸・額田合戦で額田方に味方	
する/宮田掃部助館/地天館/菅谷の土	
豪連合/高野氏館/加藤安房館/柏村越	
前守館/藤咲丹後館/竹の内館/平野小	
六館/<太閤検地>	
近世	98
<慶長7年、武田信吉、菅谷に御殿を設	
ける>/<慶長7年、菅谷に町年寄が置	
かれる>/<慶長11年、伊奈忠次による	
菅谷新田開発>/菅谷新田開発はいつ	
から始まったか/<社寺祠堂>/鹿島神	
社/八竜神社/不動院/正覚寺/延命院	
跡/常運寺跡/<享保期菅谷村商業の形	
成>/<農村荒廃と菅谷村改革>/<文	
化期の菅谷村>/<天保菅谷村絵図>/	
<天保菅谷村組分け絵図>/<天保期の	
鹿島神社・八竜船寄神社の廃止、新たに	
鹿島神社を勧請統合>/<安政期菅谷村	
商業の拡大>/<教育者の碑文>/平野	
又左衛門の墓碑	

近代	106	坂神社／稲荷神社／＜広域農道（バードライン）＞／＜溜池＞／上宿溜池／津崎溜池／野中溜池／大佛溜池／＜教育施設＞／ばら野学園那珂市立第一中学校／茨城県立那珂高等学校／茨城県立茨城学園／（コラム）伊奈備前守忠次の墓ははじめ後台源長寺に造られた／（コラム）上新地共同墓地の六角石幢／＜後台地区小字図＞
＜沿革＞／＜那珂郡役所設置＞／＜太田鉄道・水郡線の開通＞／＜産業功労者の碑文＞／白土松吉の顕彰碑／＜昭和17年、菅谷防空監視哨、米軍機初空襲を通報するも大幅に警報遅れる＞／＜菅谷の大助祭り＞		
現代	107	
＜小・中学校の統合と新設＞／＜菅谷バイパス開通と菅谷市街の道路拡張工事＞／＜那珂町役場の移転＞／＜那珂・瓜連両町合併し那珂市誕生＞／＜那珂市立図書館の新設＞／＜一ノ関溜池整備と白鳥の飛来＞／＜小字名＞／＜地名の由来＞／＜菅谷地区小字図＞		
2 福田地区	111	2 中台地区
歴史	111	132
古代	111	＜村絵図＞／＜外記塚＞／＜息栖神社＞／＜馬頭観音＞／＜中台の溜池跡と油脂会社＞／（コラム）女郎ヶ池の伝説／＜工事中の国道349号線と遺跡の発掘＞／＜中台地区を走る水郡線＞／＜旧那珂町に水戸市があった！＞／＜中台地区小字図＞／＜津田地区小字図＞
＜古代官道副道＞		
中世	111	3 東木倉地区
＜城郭＞／原坪館／福田中坪館／向坪館／玄番山館／東崎館／福田稲荷宮館跡／＜社寺祠堂＞／春日神社／金光寺跡		137
近世	115	＜概観＞／＜村絵図＞／吉田神社／清水洞／根本正の生家／＜教育施設＞／ばら野学園那珂市立五台小学校／茨城県立水戸農業高等学校／茨城女子短期大学／＜洞の上溜池・太陽光発電施設＞／＜石仏石塔・石碑＞／＜県道38号線＞／（コラム）『常陸国風土記』の「曝井」は清水洞こそがふさわしい／＜東木倉地区小字図＞
＜概観＞／＜若者組の活動＞		
近代	116	4 西木倉地区
＜沿革＞		145
現代	116	＜概観＞／＜植桜記念碑＞／＜未完成の水道タンク＞／（コラム）木の葉・貝の化石が出た／＜那珂川浄水場＞／＜西木倉小場江江下土地改良事業完成記念碑＞／＜石仏石塔＞／＜諏訪神社＞／＜太陽光発電施設＞／＜西木倉古墳群＞／＜小場江用水＞／＜西木倉地区小字図＞
＜常磐自動車道的那珂インター開設＞／＜那珂町役場・中央公民館の建設＞／＜小字名＞／＜地名の由来＞／＜福田地区小字図＞		
		5 豊喰地区
		151
		＜概観＞／＜豊喰新田＞／＜社寺祠堂＞／天満神社／薬師堂／＜石仏石塔＞／＜細谷溜池＞／＜台溜池＞／＜茨
V 五台地区		
概観	121	
＜役場・教育施設＞／初期の小中学校		
1 後台地区	123	
＜概観＞／＜石仏石塔・石碑＞／＜社寺祠堂＞／鹿嶋三嶋神社／野中一ノ矢・八		

城県中央水道事務所>/<坂本家のモチノキ>/<常磐自動車道>/ (コラム) 新遺跡 (館跡) 発見か</>豊喰地区小字図>

Ⅵ 戸多地区

概観 159

<戸多村役場>/<教育施設>/戸多小学校/戸多中学校/<遺跡>

1 戸地区 162

<小字名>/<筒形土偶>/<石仏石塔>/<国神神社>/<桧山館>/<龍昌院>/戸板の渡し/<施設>/<不動尊>/<戸村城>/<文殊院>/六地藏石幢/<石仏石塔>/<廃寺>

中谷原地区 166

<水戸北飛行場>/<終戦後の中谷原開拓>/<那珂西部工業団地>/<那珂総合公園>/<戸地区小字図>※中谷原地区含む

2 田崎地区 171

<概観>/<小字名>/<静神社>/<寺院>/<石仏石塔>/<田崎地区小字図>

3 大内地区 174

<概観>/<小字名>/<鹿島諏訪神社>/<大内館>/<大内河岸>/<那珂中部用水の下江戸揚水機場>/<石仏石塔>/<大内地区小字図>

4 下江戸地区 177

<概観>/<小字名>/<吉田神社>/<江戸城跡>/<下江戸河岸>/<千代橋>/<阿弥陀堂>/<石仏石塔>/<廃寺>/<那珂家>/ (コラム) 実在しなかった南朝の英雄「那珂通辰」/(コラム) 江戸城遺称地の実態</>下江戸地区小字図>

Ⅶ 芳野地区

概観 189

<飯田>/<鴻巣>/<戸崎>/<役場>/<芳野診療所>/<教育施設>/小学校/芳野中学校

1 飯田地区 192

村絵図

<大洞溜池>/<廃寺静安寺と興隆院>/<備前館跡>/<筑波神社>/<藤田幽谷・東湖顕彰碑>/「遺芳」「尊皇遺烈の碑文」/「藤田幽谷」先祖の旧宅/<富田兵左衛門>/<石仏石塔>

小字名 196

遺跡 196

小字の特色 196

<打出>/大和田家由緒書上/2代義公光圀 大和田家宿泊/4代成公宗堯鷹野/6代文公治保 参詣/7代武公治紀 巡村/9代斉昭の生母瑛想院 参詣/斉昭の女子松御殿 参詣/斉昭の女子祝姫 参詣/斉昭の八男昭融 巡村/斉昭の夫人貞芳院 参詣/<字上城>/<字中根前>/久福寺/一乗院/愛宕神社/中根古墳/境内の石仏石塔/孝子大森幸介翁顕彰碑/<名産「茄子」>/<楯ノ前>/掛札館/<向井西・寄居>/弁財天宮/字寄居の石仏石塔/<上新田・中新田・下新田>/辻権現社と田中本尊/稲荷神社/医師長谷川友才・友節父子

新田開発と新田村 202

<飯田新田村>/<那珂広域農道バードライン開通記念碑>/<飯田村新田屋敷並>/<曲松と義家伝説>/<椿庵翁之碑>

戦後の開拓 206

<飯田地区小字図>

2 鴻巣地区 208

遺跡 208

<秣野>

小字名 208

<木戸>/<宿山>/稲荷神社/高畠家の家伝薬/溜池/<鷺宮>/鷺神社/医師会沢家/<油免>/<白旗>/<新野>/<前鴻巣>/<前本郷>/<上條・台>/<東風谷>/<稲荷山>/<薬山・根城内>/作曲家 細谷一郎/高畠家のイトヒバ/<鷺山>/<辻>/<札山> 廃寺 214 中世・近世の街道 214 <南郷街道>/<比丘尼街道>/<鴻巣地区小字図> 3 戸崎地区 216 小字名 216 遺跡 216 中世の遺跡「内後館」..... 216 阿川城と国井氏 217 社寺祠堂 217 <廃寺 蓮光寺>/<観音堂>/<廃寺 静安寺>/<鹿嶋神社>/鹿嶋神社の棟札/修復を示す棟札の解説/大助祭り/<弁財天と愛宕山> 江戸時代の戸崎地区 220 <曲がり屋>/<庶民の信仰>/石仏石塔/講仲間の結成/地藏さまの御田植祭/庚申講/如意輪観音十九夜講/子安講/聖徳太子供養/正月行事/繭玉飾り/ワーホイ 近代・現代の戸崎地区 223 <白土松吉>/<水戸北飛行場>/<戸崎の松並木>/<戸崎コミュニティセンターの建設>/<戸崎地区小字図>	
--	--

VII 木崎地区

概観 229	
<役場>/<教育施設>/小学校/中学校/<遺跡>	
1 鹿島（木崎分）地区 231	
<鹿島神社>/<皇大神宮>/<海野家三代の家塾>/<中崎 憲>/<廃寺>/	

千手寺/泉秀院/<石仏石塔>/<小字名>/<鹿島（木崎分）地区小字図>	
2 門部地区 234	
<鹿島静神社>/<愛宕神社>/<別雷皇大神>/<門部白河内地内>/白河内古墳群/白河内十三塚/門部字中反町一本松/黒森坂/八幡太郎義家伝説/五万木平/ゆうがひ山/門部館跡/廃寺/銀山寺/開蔵院/石仏石塔/東組/中組/西組/小屋場/白河内/小字名 <門部坏地内>/耕吟中井川翁碑/代議士中井川浩/軍師本尊/廃寺/善重寺/石仏石塔 <下河原地内>/共盛蚕業組合記念碑/下河原の諸施設/三峯神社/石仏石塔 <小字名>/<門部地区小字図>	
3 北酒出地区 244	
<愛宕神社>/<京観坪土器>/<北酒出氏>/<小林照秀翁遺澤之碑>/<石仏石塔>/<小字名>/<北酒出地区小字図>	
4 南酒出地区 247	
<概観>/<駒形神社>/<素鷲神社>/<溜池>/<南酒出城跡>/<南酒出遺跡>/<蒼龍寺>/蒼龍寺の墨書/<おちよ桜>/<和算学者の記念碑>/<北向地藏尊>/<廃寺>/根本寺/高泰院/常韻寺/<石仏石塔>/<小字名>/<木崎地区の「十坂」>/<南酒出地区小字図>	

IX 瓜連地区

1 静地区・下大賀地区 259	
環境 259 歴史 259 古代 259 <静・下大賀の古墳群>/静の新宿古墳群/下大賀十林寺古墳群/<下大賀遺跡>/古代の「塩の道」/古墳時代の方	

形住居跡／＜静神社と倭文部＞／5・6	
世紀の倭文部の成立／静神社の成立／	
「常陸国風土記」に見える静織の里／「万	
葉集」に見える倭文部可良麻呂の歌／『三	
代実録』『延喜式』の中の静神社／銅印「静	
神宮印」と宮号／常陸二の宮となった静	
神社／下大賀村大井戸・滝明神の成立	
中世	264
＜下大賀遺跡＞／中世の「塩の道」／＜常	
陸二の宮静神社と佐竹氏＞／静神社銅印	
が埋められたのは南北朝内乱期か／瓜連	
城陥落後の神宮寺の宗旨替え／室町時代	
の弘願寺の活動／静神社祭神はいつ手力	
雄命に変えられたのか	
近世	267
＜水戸藩と静神社＞／静神社への徳川家	
康朱印状／徳川頼房の吉田神道伝授と静	
神社神官神道免許／『鎮守開基帳』によ	
る静神社由緒と朱印地／静神社社家の組	
織／「常陸名所図屏風」に見る静神社と	
静宿／光圀の寺社改革と唯一神道達書／	
寛文7年、旧社殿の破却と銅印の発見／	
静神社社殿改造と寺院位置／徳川光圀の	
社殿造営／寛文10年、静長官萩庭氏から	
斎藤氏に替えられる／＜下大賀の社寺祠	
堂＞／弘願寺／滝神社／＜静神社の平磯	
出社の実態＞／＜明和8年太田村鑄銭座	
打ち毀し＞／打ち毀しの原因／打ち毀し	
の実行／＜文化4年『水府志料』にみる	
静・下大賀村＞／静村／下大賀村／＜幕	
末の磯出神事と尊攘運動＞／天保3、4	
年の平磯出社の規模拡大／天保12年の静	
神社火災／天保15年静神社再建／尊攘派	
の台頭と内紛／万延元年桜田門外の変／	
静神社内の紛争／元治元年の天狗諸生	
の乱／静神社社家の動向／＜慶応2年の	
那珂湊打ち毀し＞／打ち毀しの原因／打	
ち毀しの準備／打ち毀しの実行／藩の対	
応／＜静神社祭神をめぐる議論＞	

近代	278
＜明治・大正時代の静神社＞／＜明治9	
年那珂郡一揆別働隊静山に屯集する＞／	
＜静村の沿革＞／＜静の山中に残る戦争	
遺跡「弾薬庫跡」＞／＜静峰公園の開	
設＞／＜小字名＞／＜小字の由来＞／	
＜静地区小字図＞／＜下大賀地区小字	
図＞	
2 瓜連地区・中里地区・古徳地区・鹿島（瓜	
連分）地区・平野地区	283
環境	283
歴史	283
古代	283
＜弥生時代＞／＜古墳時代＞／＜奈良・	
平安時代の遺跡＞／＜大塚遺跡の古代寺	
院跡＞	
中世	284
＜八幡太郎伝説と八幡瀬＞／＜中世「塩	
の道」と瓜連宿＞／＜久慈西郡政所と瓜	
連沙汰人＞／＜西福寺跡＞／＜十輪寺	
跡＞／＜南北朝合戦と瓜連城＞／元弘3	
年鎌倉幕府倒壊と楠木正家の苅連進出／	
建武3年佐竹貞義瓜連城攻撃で大敗し、	
太田から撤退し西金砂山に立て籠もる／	
佐竹幸乙丸と入野助房は本当に南朝方と	
なったか／佐竹義篤が常陸に帰還し南北	
朝両軍の激戦続く／瓜連城陥落する／興	
国元年、高師冬瓜連辺を廻る／延文3年、	
瓜連城内に常福寺創建される／久慈西部	
ははたして金沢称名寺領といえるのか／	
久慈西郡政所で合戦が行われる／康安2	
年、佐竹義篤久慈西郡諸郷を譲る／社寺	
祠堂／牛頭天王社／諏訪明神跡／山入の	
乱／山入の乱（前期）で瓜連城佐竹惣領	
家側の陣営となる／文安2年、大山氏本	
古徳に城郭（古徳城）を造る／中里五輪ヶ	
台に宥尊の墓建てられる／山入の乱（後	
期）で瓜連山入方に押領される／部垂の	
乱／部垂の乱で瓜連城は小場・前小屋氏	

の支配下に入る／部垂の乱末期に瓜連城
に土豪一揆結集する／部垂の乱時の瓜連
城の惣構／部垂の乱は終了し瓜連は佐竹
惣領家の支配下に入る／＜瓜連城＞／本
郭／惣構え／＜古徳城＞

近世 301

＜浄鑑院（武田信吉菩提寺）と常福寺（同
位牌所）の変遷＞／＜寛永検地と村高＞／
＜素鷲神社＞／＜富士神社と箱根神社、
鹿島神社＞／富士神社／箱根神社／鹿
島神社／＜岩崎用水、古徳溜池＞／承応
元年岩崎用水の造成／元禄14年古徳溜
池の拡張／＜享保11年の瓜連・下大賀・
静村の商業＞／＜享保10年の瓜連村への
達書＞／＜文化4年『水府志料』に見る
瓜連地域の村々＞／瓜連村／白蓮塚の由
来／けぜう坂の由来／磯崎村／八幡瀬／
古徳村／古館—古徳城／中里村／秣野／
＜天保3年『瓜連村軒別帳』＞／＜八幡
瀬はどこにあったのか＞／＜天保改革で
の廃仏毀釈＞

近代 309

＜明治18年『地誌材料稿』による瓜連
村＞／沿革／位置／地味／地勢／人口／
役所施設／寺社／道、河川／古跡／物
産／民業／＜昭和9年、瓜連村から瓜連
町へ変更＞／＜昭和34年、瓜連町長岩上
二郎茨城県知事となる＞／＜昭和41年、
古徳沼の白鳥飛来＞／＜平野台住宅＞／
＜総合センターらぼーるの建設＞／＜平
成17年、瓜連町と那珂町が合併して那珂
市となる＞／小字名／小字の由来／＜瓜
連地区小字図＞／＜中里地区小字図＞／
＜古徳地区小字図＞／＜鹿島（瓜連）地
区小字図＞／＜平野地区小字図＞

那珂市史略年表 321

あとがき 336